

令和7年9月10日橋谷地区公民館 茶話会チームオレンジ発足!



チームオレンジとは、認知症に対する正しい知識を持った認知症サポーターと市や関係機関が連携し、地域で暮らす認知症の方々を見守り、支援する仕組みのことです。

橋谷地区のリーダーは「チームオレンジは自分たちの未来のため」と話されていました。



チームオレンジフォローアップ訪問を行っています。



橋谷地区見守り声かけ訓練

令和7年10月4日橋谷地区公民館周辺で認知症高齢者見守り声かけ訓練を行いました。

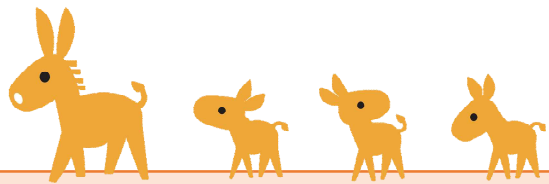
橋谷地区公民館茶話会チームオレンジリーダーの橋谷さんを中心に認知症役の方へ地域の皆さんやたくさんの参加者の方々が目線を合わせ優しく声かけをしていました。講話の中で警察官の方から行方不明者の現状、一人歩きをしている方を発見した時の警察への連絡の仕方について話をいただきました。



参加者の声

- ・自分のためにも大変良かったです。
- ・やさしく声かけすることが大事だと思いました。
- ・声かけをさせていただきましたが、まだ上手にできたのではと悔いがあります。もし、同じことがあれば、頑張ってお声かけをしようと思います。
- ・今後も日頃から、地域で仲良く見守って、私自身も見守ってほしいです。
- ・実際の声かけは難しいけど、訓練して勉強になりました。

認知症サポーター養成講座



南小学校



北西三区



西小林小学校



西小林中学校



永久津中学校

養成講座受講者の声

- ・地域、家族の理解・協力が必要だと思いました。明日は我が身、通る道。
- ・今まで認知症の人と聞くと介護が大変そうで、少し自分にはできないと思っていたけれど、しっかり気持ちに寄り添って話を聞いてあげることが大切だと思いました。
- ・ぼくはひいおばあさんが100歳で認知症でどうやって話せばいいのわかりませんでした。でも、講座を受けて話そうと思いました。
- ・85歳になったら2人に1人は認知症になっているからわたしもいつか認知症になるのかなーと思いました。
- ・もし、認知症のことで困ったら、包括支援センターに相談したりして、一人で悩まないようにしたいと思いました。

「認知症サポーター」とは・・・

認知症について正しく理解し、地域や職場で認知症の人やその家族を温かく見守り、寄り添い、支え合う応援者になります。認知症の理解を深め、認知症になっても安心できる地域を目指しましょう。

【問い合わせ先】

小林市地域包括支援センター： 25-0707

のじり地域包括支援センター： 44-2271

小林市西部地域包括支援センター： 27-2552

